

大雪に伴って発生する社会的影響の状況及び課題

平成 29 年 3 月 15 日
全国知事会危機管理・防災特別委員会

1. 立ち往生車両の発生

ドライバー支援のための情報提供の遅れと関係機関間の連携不足

ア. 主な状況

- ・ 1/23～24、智頭町で観測史上最大の日降雪量 70 cm/日を記録。
2/ 9～12、鳥取市で 33 年ぶりとなる 91 cm と観測史上最大となる記録的な豪雪。
降り始めから継続的に除雪作業を続けても除去することができなかった。
- ・ 鳥取自動車道の現道区間である国道 373 号では幅員狭小で人家連担区間もあり排雪場所が無い状況の中、鳥取自動車道で突発的なスタック車両が発生し、事前に関係者に連絡する余地が無いまま全面通行止め。
このため、国道 373 号に多くの交通が流入し、幅員狭小部で大型車両のすれ違いが出来ず、さらにスタック車両の発生により立ち往生車両が発生。
- ・ 立ち往生車両 1/23～24…米子自動車道：60 台、鳥取自動車道：50 台、国道 53 号：10 台、国道 373 号：204 台。
2/9～12…山陰道：100 台、国道 9 号：150 台。
- ・ 1/24、自衛隊への派遣要請。自衛隊により、智頭町の立ち往生車両の救出、除雪、ドライバー等が退避している避難所へ食料等の輸送。除雪車への給油。
(鳥取県)
- ・ 2/11 深夜、新東名高速道路上り(長泉沼津 IC～御殿場 JCT)間の 13.2 km が通行止めとなり、一時、9 km にわたり約 1,000 台が立ち往生。女性 1 名が体調不良で救急搬送。
- ・ 中日本高速道路(株)が、水・食料・携帯トイレなどの配布、簡易トイレを設置。
(静岡県)
- ・ 1/16、17、国道 173 号(京丹波町～綾部市)の峠部分で大型車の立ち往生発生。
1/23、国道 176 号(福知山市)の峠部分で大型車の立ち往生発生。
(京都府)
- ・ 1/23 深夜、国道 173 号でトレーラーの立ち往生発生(通行止め有)。
2/11 昼間、国崎野間口線で乗用車(ノーマルタイヤ)の立ち往生発生(通行止め無)。
(大阪府)
- ・ 1/29、中国横断自動車姫路・鳥取線で雪によるスタック車両が原因となり、鳥取方面に向かう下り線で約 50 台(大型車が約 9 割)が長時間にわたり立ち往生。
(岡山県)

イ. 主な原因及び課題

- ・ 高速道路、直轄国道、主要国道・県道等の道路管理者、交通管理者の連携不足により、道路交通ネットワークの著しい機能低下となった。
(鳥取県)
- ・ 平時温暖な地域では積雪することが少なく通行車両の多くがノーマルタイヤであった。
(静岡県)
- ・ 立ち往生車両の中にはノーマルタイヤの車両もあった。
(京都府)
- ・ 山間部で積雪や凍結が起こっていることを十分把握せず、市街地から冬用タイヤの装着やチェーン携行なしで通行する車両が多かった。
(大阪府)
- ・ 中国道から鳥取県への通行止めは中日本高速道路(株)による早期実施がされたものの、鳥取自動車道における岡山県内各インターチェンジの封鎖が遅れた。
(岡山県)

2. 除排雪に関する対応

(1) 除排雪に関する広域応援体制の不足と関係機関間の連携強化

ア. 主な状況

- ・ 2/11 午前 2 時頃、新東名高速道路(長泉沼津 IC～御殿場 JCT)間が通行止めとなり、融雪剤の散布を継続したが、通行止め解除まで午後 2 時までかかった。(静岡県)
- ・ 明け方大雪となった場合、通勤・通学にあわせた除雪が間に合わない。(新潟県)

イ. 主な原因及び課題

- ・ 普段雪が少ないため、除雪作業業者が限られていたり、除雪に必要な資機材が十分なく対応が遅れたことから、広域的な応援体制が必要。(静岡県)
- ・ 日中の除雪作業は、通過車両や歩行者の安全確保のため断続的な作業となるため、迅速な除雪が困難であることから、広域的な応援体制が必要。(新潟県)

(2) 除排雪に関する財政面、人員確保面の問題

ア. 主な状況

- ・ 鳥取県内の高規格道路は大部分が 2 車線で、スタック車両が発生した際に、後続車両が追い越しできず、即時通行止めとなり、集中的な除雪のためにも、上下線の全面通行止めが必要となる。
- ・ 2/9～、生活道路に係る除雪が遅れが生じ、路線バスの運休、小中学校の休校が発生。(鳥取県)
- ・ 1/13～17 の大雪では、普段降雪の少ない京都府中部(南丹市・亀岡市)で大雪となり、除雪作業が遅れがみられた。(京都府)
- ・ 積雪寒冷地域以外の普段降雪が少ない地域の大雪により多額の除雪費用を要し、除雪の予算を使い果たし、通常の維持管理予算から除雪費を補填した。(三重県)

イ. 主な原因及び課題

- ・ 高規格道路の 2 車線区間は追い越しが不可能なため即時通行止めとなる。(鳥取県)
- ・ 除雪機械の不足。除雪作業を行う除雪機械オペレーターの人員不足(鳥取県)
- ・ 倒木や電柱の倒壊などにより除雪作業が遅れた。また、除雪機械が少ない。(京都府)
- ・ 普段降雪が少ない地域で大雪となると、異常な降雪の除雪には多額の費用を要し、通常の維持管理予算を流用するため、道路の維持管理全体に支障が生じ、安全な道路通行の確保が困難。(三重県)

3. 孤立地区の発生

孤立（予想）地区に対する事前対策の不足

ア. 主な状況

- ・1/30、主要地方道京都広河原美山線で、大雪が原因とみられる崩土が発生し、全面通行止め（9:00～18:00）。この間、3地区（37世帯、78人）が孤立。スクールバスが下校できない事態となる。（京都府）
- ・孤立集落の発生はなかったが（一時的な孤立状態はあった）、高齢者世帯等、自ら除雪が困難な世帯や、行政による除雪の支援が必ずしも十分でない集落の情報はあった。また、行政・警察による安否の確認に時間を要した。（鳥取県）

イ. 原因及び課題

- ・冬季においては、峠部など交通量が少ない箇所が除雪対象外となっていることから、迂回路が確保できない。（京都府）
- ・降雪期の孤立については、倒木などによる道路寸断や停電発生時の早期対応が必要。（岐阜県、鳥取県）
- ・地域住民による安否確認や除雪協力など共助の取組の一層の推進が必要。（鳥取県）

4. 農業関係等被害

ア. 主な被害状況・被害額

- ・農業用ハウス・果樹棚の倒壊、農作物被害・果樹の樹体損傷、など

平成28年度の主な被害額（※調査回答 3/7時点の各都道府県回答より）

都道府県名	概算被害額（千円）	都道府県名	概算被害額（千円）
青森県	未確定	滋賀県	216,801
秋田県	166,477	京都府	669,000 (3/10時点)
山形県	580,000	大阪府	3,535
長野県	38,910	兵庫県	685,000
岐阜県	59,587	鳥取県	1,186,056
三重県	270,458	岡山県	35,972
福井県	8,000	島根県	434,755
		広島県	76,692

5. その他（鉄道関係（JR特急列車、普通列車の立ち往生））

ア. 主な状況

- ・2/10、スーパーはくと13号が京都駅から鳥取駅に向かう途中、23時頃から大雪による信号トラブルで立ち往生（乗客150人）。翌日（2/11）午前3時運転再開。
- ・JRから鳥取駅到着後、乗客にビスケットと水を提供。
- ・県は、2/11午前2時のNHKニュースで情報把握。午前3時に職員2名を現地に派遣。
（鳥取県）
- ・2/10、普通列車が鳥取駅から米子駅に向かう途中、20時30分頃から大雪による信号トラブルで立ち往生（乗客26人）。翌日（2/11）午前8時50分信号トラブル等が解消し運転再開するも、降雪により立ち往生が継続。代替輸送のための小型バスを手配するも道路通行止めにより到着せず。結果、米子駅に列車が到着できたのは2/11午後9時30分。（到着時の乗客10人）
- ・JRから軽食を乗客に提供。
- ・県は、2/11午前2時のNHKニュースで情報把握。鳥取市を通じて毛布配送。
（鳥取県）

イ. 原因及び課題

- ・鉄道関係事業者との連携強化と緊急時の連絡体制の構築。
※鳥取県は、これまでの連絡体制に加え、新たに緊急時24時間ホットラインを設置。
事業者の緊急時対応について今後検討
（鳥取県）